




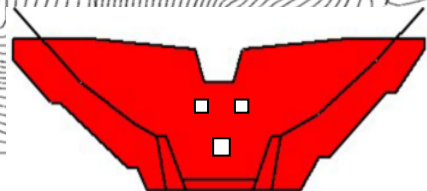
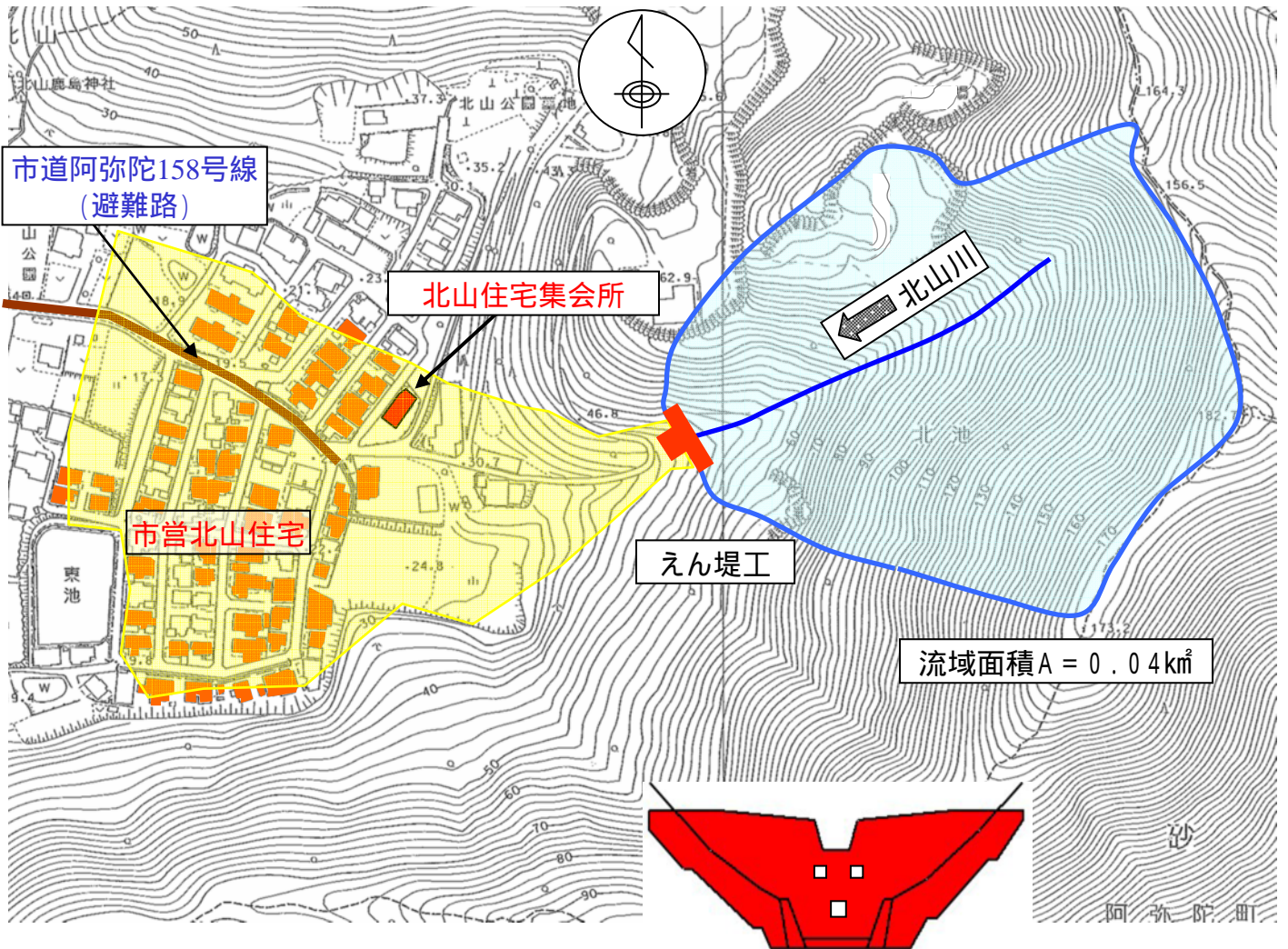
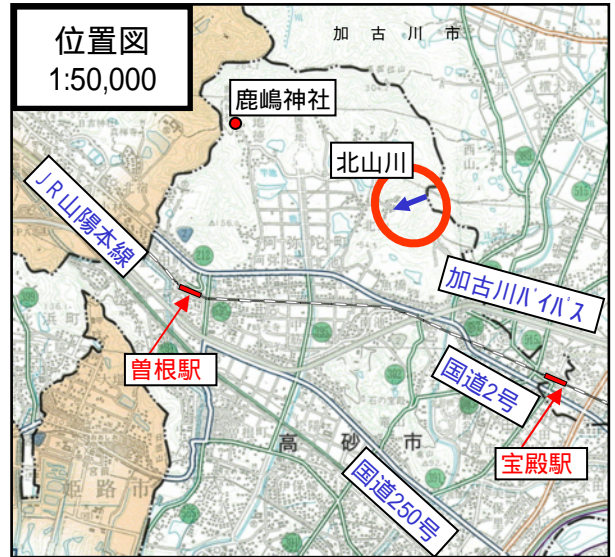
投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (藤井 嘉彦)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5 億円
		通常砂防事業 きたやま 北山川		内用地補償費	0.2 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
高砂市阿弥陀町北山 <small>あみだちようきたやま</small>			H21	H21	H24
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 7.0m, L = 50.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 (流域の状況)	・準用河川鹿島川に流入する土石流危険溪流 ・流域は露岩している箇所も多いが、風化が進行し転石(0.8m前後)が多く存在しており、近年の降雨による溪岸の浸食も進むなど、流域の荒廃が進行している。 ・谷出口に住宅地が広がっており、土砂災害の危険性が高い。				
(保全対象等の状況)	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約4ha(長さ280m、最大幅230m程度)に及ぶ。 ・市営住宅等68戸 ・北山住宅集会所 ・市道(約100m)				
(2)有効性・効率性 (効果)	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成20年度に土砂災害警戒区域を指定する予定であり、警戒避難体制を整備するなど、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
(事業執行環境)	・工事用道路として既存の道路を利用し、えん堤設置位置まで寄り付くことが可能であるなど、事業執行環境は整っている。				
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・市の協力体制が整うなど、円滑な事業執行が可能。 以上より、H21年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

きたやまがわ
北山川
[高砂市]

計画概略図
縮尺 1 : 3,500

凡例	
	事業実施箇所
	土石流氾濫区域
	保全人家等



えん堤工 $H = 7.0\text{m}$, $L = 50.0\text{m}$